

〈別科〉

| 科目名 | 科目区分 | 開講年次 | 必・選 | 開講期 | 単位数 | 担当教員名 | 担当形態 |
|-------------|---------------------------------------|------|-----|-------|-----|-------|------|
| 多文化社会を生きる I | 文化関連 | 1 | 必修 | 前期 | 2 | 尾崎和香子 | 単独 |
| 英語科目名 | Living in our Multicultural society I | | レベル | 入門～初級 | | | |

〈授業概要〉

日本語学習のクラスは多文化社会であるともいえる。学生相互の文化的差異を学びの資源とし、対話と思考を通じ、身近な日常社会の中にある、さまざまな「文化的問い」を深める。

〈到達目標〉

さまざまな文化を知り、自分の文化的背景を振り返り、簡単な日本語で説明できる。文化的寛容性、思考力、対話力が身につく。

〈ディプロマポリシー〉

別科日本語研修課程では、大学で学ぶための基礎となる日本語と日本文化を学び、自律的学習能力、文化的寛容性、自ら思考する力を持つことによって、それらを基盤として国際社会の平和と文化の発展に貢献できる能力を持つ人材の養成を主たる目的としています。この考えに基づき、以下のような人材が所定の単位を取得した場合に、修了を認めています。

1. 大学で学ぶための基礎となる日本語力と自律的学習能力を持つ人材
2. 大学で学ぶための基礎となる日本文化に対する理解と、文化的寛容性を持つ人材
3. 大学で学ぶための基礎となる日本語コミュニケーション能力を持ち、他と協力して問題発見・問題解決に努める人材
4. 常に、社会に関心をもち、経験に根ざし自ら思考する人材
5. 上記の能力を発揮し、国際社会の平和と文化の発展に貢献しようとする情熱と意志を持つ人材

〈学生へのフィードバック〉

授業中のパフォーマンスや提出された課題について、主に、授業中に個別にフィードバックする。

〈授業/ALの進め方〉

個人ワーク型：授業中のパフォーマンスや提出課題の指導等を通し、学生(個人)の能動的な学修を促す。

グループワーク型：ピアワークやグループワーク、学生間の相互評価をおこなう。

〈利用する ICT 機器〉

適宜、書画カメラ、パソコン、プロジェクタ等を使用する。

〈成績評価〉

【評価方法】

小テスト (30%)、提出課題 (50%)、授業への積極的参加 (20%)

【評価基準】

提出課題は、量(数)と内容(質)の両面から評価する。

内容(質)は、初回提出時の達成度だけでなく、教員指導後の自己訂正の成果も含め評価する。

〈教科書〉

授業中に適宜、指示する。

〈参考書〉

授業中に適宜、指示する。

〈受講学生へ〉

シラバスや授業内の指示に従い、毎回十分な予習、復習をおこなうこと。

出席回数が基準に達しない学生は、成績評価の対象としない。

【授業計画】

| | | |
|------|--------|---|
| 第1回 | 授業内容 | オリエンテーション 他 |
| | 事前事後学修 | 日本の「食べる」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第2回 | 授業内容 | 「食べる」(日本のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本での「食べる」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第3回 | 授業内容 | 「食べる」(日本での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国の「食べる」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第4回 | 授業内容 | 「食べる」(留学生の自国のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国での「食べる」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第5回 | 授業内容 | 「食べる」(留学生の自国での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本の「住む」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第6回 | 授業内容 | 「住む」(日本のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本での「住む」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第7回 | 授業内容 | 「住む」(日本での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国の「住む」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第8回 | 授業内容 | 「住む」(留学生の自国のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国での「住む」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第9回 | 授業内容 | 「住む」(留学生の自国での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本の「働く」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第10回 | 授業内容 | 「働く」(日本のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本での「働く」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第11回 | 授業内容 | 「働く」(日本での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国の「働く」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第12回 | 授業内容 | 「働く」(留学生の自国のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本での「働く」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第13回 | 授業内容 | 「働く」(留学生の自国での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 「ステレオタイプ・個人差」について調べてくる (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第14回 | 授業内容 | 「ステレオタイプ、個人差」、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 「ステレオタイプ・個人差」について体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第15回 | 授業内容 | 「今の自分、これからの自分」、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | リフレクションペーパーを書く (90分)、小テスト準備 (30分) |

〈別科〉

| 科目名 | 科目区分 | 開講年次 | 必・選 | 開講期 | 単位数 | 担当教員名 | 担当形態 |
|------------|---------------------------------------|------|-----|-------|-----|-------|------|
| 多文化社会を生きるⅡ | 文化関連 | 1 | 必修 | 後期 | 2 | 二口和香子 | 単独 |
| 英語科目名 | Living in our Multicultural society Ⅱ | | レベル | 初級～中級 | | | |

〈授業概要〉

多文化社会を生きるⅠに引き続き、学生相互の文化的差異を学びの資源とし、対話と思考を通じ、身近な日常社会の中にある、さまざまな「文化的問い」を深める。

〈到達目標〉

さまざまな文化を知り、自分の文化的背景を振り返り、簡単な日本語で説明できる。文化的寛容性、思考力、対話力が身につく。

〈ディプロマポリシー〉

別科日本語研修課程では、大学で学ぶための基礎となる日本語と日本文化を学び、自律的学習能力、文化的寛容性、自ら思考する力を持つことによって、それらを基盤として国際社会の平和と文化の発展に貢献できる能力を持つ人材の養成を主たる目的としています。この考えに基づき、以下のような人材が所定の単位を取得した場合に、修了を認めています。

1. 大学で学ぶための基礎となる日本語力と自律的学習能力を持つ人材
2. 大学で学ぶための基礎となる日本文化に対する理解と、文化的寛容性を持つ人材
3. 大学で学ぶための基礎となる日本語コミュニケーション能力を持ち、他と協力して問題発見・問題解決に努める人材
4. 常に、社会に関心をもち、経験に根ざし自ら思考する人材
5. 上記の能力を発揮し、国際社会の平和と文化の発展に貢献しようとする情熱と意志を持つ人材

〈学生へのフィードバック〉

提出された課題について授業中に個別にフィードバックする。

〈授業/ALの進め方〉

個人ワーク型：個人ワーク型：課題の添削・指導などを通し学生(個人)の能動的な学修を促す。学習過程や学習成果物に対し教師が個別に助言をおこなう。適宜、ピアワークやグループワーク、学生間の相互評価をおこなう。

〈利用するICT機器〉

教師が、書画カメラ、パソコン、プロジェクタを使用する。

〈成績評価〉

【評価方法】

小テスト (30%)、提出課題 (50%)、授業への積極的参加 (20%)

【評価基準】

提出課題は、量(数)と内容(質)の両面から評価する。

内容(質)は、初回提出時の達成度だけでなく、教員指導後の自己訂正の成果も含め評価する。

〈教科書〉

適宜、授業中に指示する。

〈参考書〉

適宜、授業中に指示する。

〈受講学生へ〉

シラバスや授業内の指示に従い、毎回十分な予習、復習をおこなうこと。

出席状況と授業への積極的な取り組みを重視する。

【授業計画】

| | | |
|------|--------|---|
| 第1回 | 授業内容 | オリエンテーション 他 |
| | 事前事後学修 | 日本の「老いる、病む」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第2回 | 授業内容 | 「老いる、病む」(日本のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本での「老いる、病む」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第3回 | 授業内容 | 「老いる、病む」(日本での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国の「老いる、病む」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第4回 | 授業内容 | 「老いる、病む」(留学生の自国のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国での「老いる、病む」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第5回 | 授業内容 | 「老いる、病む」(留学生の自国での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本の「産まれる、産む」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第6回 | 授業内容 | 「産まれる、産む」(日本のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本での「産まれる、産む」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第7回 | 授業内容 | 「産まれる、産む」(日本での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国の「産まれる、産む」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第8回 | 授業内容 | 「産まれる、産む」(留学生の自国のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国での「産まれる、産む」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第9回 | 授業内容 | 「産まれる、産む」(留学生の自国での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本の「家族」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第10回 | 授業内容 | 「家族」(日本のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本での「家族」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第11回 | 授業内容 | 「家族」(日本での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 自国の「家族」に関する情報を収集する (30分)、情報をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第12回 | 授業内容 | 「家族」(留学生の自国のイメージ、情報)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 日本での「家族」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第13回 | 授業内容 | 「家族」(留学生の自国での体験)、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 「ステレオタイプ」について調べてくる (30分)、小テスト準備 (30分) |
| 第14回 | 授業内容 | 「文化的差異、普遍性」、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | 「文化的差異、普遍性」に関する体験を書き出す (30分)、体験をまとめる (60分)、小テスト準備 (30分) |
| 第15回 | 授業内容 | 「多文化的であること、日本にいる私」、小テスト 他 |
| | 事前事後学修 | リフレクションペーパーを書く (90分) |